

フランス語 ■■■ を 早く上達させる 5つのコツ

.....
フランス語を早く楽に
学ぶコツを手にして下さい。

》はじめに《

これから紹介する5つのコツがあらゆる人に役立つよう、全てのレベルに役立つ内容に的を絞ってまとめました。

この内容はエコールサンパの講師達と私が、25年の指導経験をとおして発見したことをベースにしています。そこにかつて私自身が日本語と英語の上達に役立てたコツも加えました。このおかげで私は早く上達し、2つの言語を自在に操って自分を表現できるまでになりました。

エコールサンパではここでシェアする情報以外に、学習者それぞれのレベルに応じたメソッドを用いてレッスンを行い、勉強法を紹介しています。私たちは生徒一人一人のレベルを、常に正確にきめ細かく把握することに力を注ぎ、その都度ベストな環境で指導を行います。あなたがいまフランス語を難しいと感じているなら、あるいは難しそうと思うなら、その難しさの元を正確に私達が把握して、あなたに最適な学習法を探し、提案することもできます。そんなきめ細かいお手伝いもできれば嬉しいです。

言葉を勉強することで、私達は母国語でも表せない感情を表現したり、新しい考え方を知ったり、別の視点から世の中を見たり、あらたなチャンスを得ることができます。それを夢見て、多くの人が外国語を学び始めます。なかでもフランス語は、学んだ人なら皆知っていますが、純粋に人生を豊かにしてくれる言語です。これからお伝えするアドバイスによって、あなたがフランス語と肩の力を抜いて向き合い、勉強を通じてたくさんの楽しみを味わい、ゴールに到達できたら嬉しいです。

驚きに満ちた、フランスの言葉と文化への、素晴らしい旅になることを祈っています。

エコールサンパ 創始者 パスカル

1. ネイティブ的な音を。 カタカナには落とし穴があります

世界を旅したいなら、まず日本の外に出なくてはなりませんよね？日本の国土の端の向こう側へ行くしかありません。同じことがフランス語学習にも、他の言語にも言えます。

日本語は他の言語と比べて、音の種類が少ない言語です。言いたいことを外国人にスムーズに分かってもらうには、日本語にない音を学ばなければなりません！カタカナの助けを借りれば簡単そうですが、それは取って日本語に例えると一番近い音。カタカナだけ追っていると、正確な発音を聞きとれなくなります。勉強を始めて間もなく限界にぶち当たります。カタカナを見ないこと！最初からリアルなフランス語の響きの中を探検しましょう。

最初は回り道に思えるかもしれませんが。しかしネイティブに通じるフラ

ンス語力を身につけるには、最初に正確な発音を習得するのが近道です。いざという時もフランス語らしく発音する力がつきます。スタート時の投資は後にしっかり回収し、最終的に時間と労力の無駄を省けます。

英語を話すことに慣れている人なら、最初は英語の発音の影響が出るかもしれませんが、大したことはありません。自分の発音に意識を向け、フランス語を読む習慣をつけて下さい。ネイティブの口のかたち、音の出し方を観察し、それを真似てトレーニングしましょう。さらに自分の発音をスマートフォンで録音し、チェックしてみてください。すぐ違いが出るはずですよ。耳と体の感覚を研ぎ澄ませ、楽しんで練習して下さい。

2. 頼れるブレインと勉強して、 成果を出した 85.3% の 1 人になろう

フランス語をマスターできる確率 85.3% と 55.6%。どちらに惹かれますか？ 85.3% にきまっていますよね。

アメリカの研究機関が数年にわたって調査を行い、責任を伴う勉強法とその成果に因果関係があるかどうかを探りました。学生を 2 つのグループに分け、一方は責任を伴う方法で学び、他方はそうでない方法で勉強しました。前者のグループの中で成果を上げた人、後者の中で成果を上げた人の割合を比較すると、およそ 30% の差で、前者のグループの勉強法が高い成果につながったことが分かりました。

責任を伴う勉強法とは、パートナーを見つけることです。勉強をとおして良い関係を築いていけそうな相手とパートナーを組んで、学んだことを一緒に復習するのです。パートナーと密な関係ができれば、相手はいつもあなたに注目していますから、あなたのフレーズに間違いがあれば指摘してくれますし、彼（または彼女）のほうがよく分かっていること

があれば、説明してくれます。あなたも同じことを相手に返します。同じ熱量の脳が2つあるようなものですから、2人が密接に関わり合うほど、当然上達は早くなりますし、楽しくなります。

注 もちろん一番良い方法は、クラスメイトの中から探すことです。エコールサンパの生徒は、みんなこの内容を知っているはずですから、ぜひ！と思う人がいたら思い切って話してみましましょう。あなたが何を言いたいか、すぐ分かってもらえると思います。先生やスタッフに頼んでみるのもいいでしょう。複数の人とやってもいいですし、学校内でセッションしても構いません。パートナーになって下さいと頼まれて、ちょっとなあ…という場合は、この一言で十分。"Non merci..."

3. 流暢なフランス語会話力への道はただ一つ

子供のころ私達は間違いから学びました。子供なら間違っても当然。学びを得るために、むしろ間違えることを大人たちから期待されたものでした。しかし大人になると違います。大人社会では間違えること（あるいは格闘すること）は、もはや一種のタブーです。私達は、泳げない、運転できない、フランス語を話せない、「できない」というばかりで「まだやったことがない」とは言いません。

しかし、言語学習の世界では全く別です。これから学ぼうとしている言語の世界には、まだあなたが知らないことがたくさんあります。今のそのあなたを受け入れ、安心させてくれる環境と、そこであなたが得られ

る自由。この2つが言語学習を成功に導く鍵なのです。

間違いを恐れず意欲的に話せば、一瞬その場に気まずい空気が流れるかもしれませんが。それを考えると、尻込みしそうになるかもしれません。しかしこれから上達し、未知の分野であなたを発展させていくには、それしか方法はありません。逆に、話そうとする意欲なしにどれだけ勉強しても、話せるようにはならないでしょう。

覚えた言葉であらゆる人と話してみる、方角を尋ねる、食べ物を注文する、ジョークを言ってみる。こうした場数を積めば積むほど、あなたが気負わず構えず話せる場面は、どんどん増えます。今までにない状況に身を置いても、緊張せず話せるようになります。

4. 適当なフランス語力しか 身につかない方法に手を出さない！

悪い習慣を断つのは難しいもの。途中でそれを正そうとしても、最初から正しい習慣を身につけるより多くのエネルギーと時間と労力が必要です。最初が肝心。言葉を学ぶ旅に出る前に、途中で迷走しないよう、大切なことをしっかり心に留めておく必要があります。

間違える人はどこでどう間違えるのでしょうか？それを避けるには、どうしたらいいのでしょうか？

独学でしばらく勉強してから私達の教室にやってくる人がたくさんいます。彼らは本屋でたまたま見つけたテキストで勉強したり、インターネットで見つけたフランス語学習サイトで使えるような文章を覚えたり、身近なフランス人に、いくつか表現を教えてもらって、勉強してきた人です。

彼らは自分で集めたフランス語のかけらを使ってコミュニケーションしようとしても、うまく行きません。かろうじて出来たとしても、正しいスムーズなコミュニケーションとは言えません。この習慣をリセットして仕切り直そうとしても、正しい方法でゼロから学ぶ人に比べて、はるかにたくさんのエネルギーと時間をかけています。

外国語の習得には、様々な分野の力が必要です。発音、聞き取り力、読解力、相手に届く会話力、文法を正しく用いる力、話し手の真意を読みとる力、そして語彙力。こうした異なる分野の力を、全部同時進行でつけていくことが、フランス語でスムーズにコミュニケーションする力への最短ルートなのです。

最初は上達を実感できないかもしれませんが、しかし後に、自分の上達に自分でも驚く時期がやって来るでしょう！

ここから先はちょっと専門的な話になりますが、フランス語でスムーズにコミュニケーションする力をつけたいなら、次に述べる勉強法があなたを早くゴールへと導いてくれます。

- ① CEFR(国際統一基準)が定めたレベル評価基準と相性の良い、スパイラル方式を採用した教材で学ぶ。これについてさらに詳しい情報は、[ここからダウンロード](#)できます。
- ② この基準に基づいて学習者のレベルを診断し指導できる、プロの講師と勉強する。

この項目では上達につながるアクションでなく、選択の基準について述べました。正しいアクションと選択。この両方が大切です。

5. シンプルな習慣が、予想以上の聞き取り力上達につながる

新しい言葉を学び始めるとき、最初は全てがノイズに聞こえます。あなたの脳は文章をどこで区切る分からず、ひとつの文が長い単語のように聞こえるかもしれません。

楽しんでできる聞き取りエクササイズをひとつ紹介します。やり方はシンプル。あなたの日課にフランス語の音声を聴く時間を加えるだけ。テキストについている音声でもいいですし、映画でも、音楽でもトークショーでも構いません。どんな会話でもプラスになります。

聞き流し続けるうちに、最初はノイズでしかなかった音が、どこで区切るか識別できるようになります。次に聞き覚えのある単語をキャッチできるようになります。分かる単語が増えれば、話の大筋が掴めます。聞きとれる要素が50%もあれば、ほとんどの場合、大意は把握できます。

かつて私はロンドンの日本企業で働いていました。日本語が全く分からないまま日本人に囲まれ、一日中日本語を耳にしながら、3年間働いていました。この偶然の職場環境が、後に日本に移り住み、日本語学校で勉強し始めたとき、予想外の効果をあげました。先生は私の覚えの早さに驚いていました。決して他のクラスメイトに比べて私が賢かったのではありません。むしろ周囲のアジア人学生のほうが、漢字に慣れ親しんでいる中国人や、文法が母国語と似ている韓国人など、有利な点がありました。彼らになくて私にあったものは、前職の職場環境だけ。耳がすっかり日本語に慣れているという、たったそれだけのことが、クラスメイトより早い上達につながったのです。

最初は単なるノイズかもしれませんが、聞き流すことを習慣にして下さい。あなたの脳がフランス語の音に親しみを感じ、慣れてきたらそれで十分。それだけで他の人よりも、早くフランス語を理解できるようになるでしょう。寝る前に聞く人もいますが、それも良い方法かもしれません。

まとめ

フランス語を楽に勉強したいなら、ここで述べた5つをぜひ実践して下さい。先生はあなたに驚き、クラスメイトはあなたを語学センスのある人だと思うでしょう。楽しみながらやってみて下さい。

5つのコツをもう一度まとめると、

- 1 カタカナは忘れて、フランス語の発音に恋をする
- 2 語学学習パートナーを見つけて、成果をあげた85.3%の1人になる
- 3 すすんで話そう。あらゆる機会を利用して、あなたから話しかけよう
- 4 最初から正しい方法で学習を始めよう
- 5 フランス語の音に慣れ親しもう

**いまフランス語を勉強中。
でも発音で行き詰っている。それなら・・・**

発音はフランス語会話上達のキーポイントです。正しく発音できれば、その音を聞き取ることもできます。聞き取れる単語が増え、拾った単

語をもとに話の大筋を理解できます。フランスで人と話す時も、発音に自信があれば、気負わず構えず話せます。「話す」「聞く」2つの分野の土台として、発音は重要です。

コツを学んで正確な発音が身につく学習機会が、エコールサンパの12時間プログラム「発音講座」です。12時間みっちりトレーニングしたあとも、自分の発音に注意する習慣をつければ、ネイティブスピーカーのような熟練した発音の習得も可能です。

4日間だけの講座なので、地方から上京する参加者もいます。1日3時間の講座なので、お仕事時間を調整して受講する人もいます。

コツは分かったけど、具体的に何から始めていいか分からない。それなら・・・

今の勉強方法でいいのか分からない、何から始めていいか分からない、それならお電話下さい。フランス語を勉強中、または再開を考えている方は、まず無料レベルチェック。あなたの勉強法が正しかったか、あなたの長所、これから重点的に勉強すべき点についても、プロの講師がアドバイスします。フランス語は初めてという人も、無料体験レッスンでフランス語学習の導入部分を学び、講師からガイダンスを受けます。

フランス語の言葉と文化をめぐる旅の、最初の一步をお手伝いします。お電話下さい。

電話番号 << 03-3337-7933

メール << info@ecolesympa.com